「湘南しいたけ」最優秀賞

道品評会 伊達の就労支援施設栽培

【伊達】社会福祉法人室蘭言泉学園が運営する就労継続支援B型事業所「湘南しいたけ」（南黄金町、藤沢憲将所長）が、第16回北海道きのこ品評会の菌床生しいたけ部門で最優秀賞の北海道知事賞に選ばれた。

品評会は11月5日に札幌で行われ、6個詰めパックを出品。形がそろい肉厚で色つやの良さが認められ、初出品した昨年の奨励賞を超える最高の評価を得た。

同事業所は2017年11月に民間の栽培施設を引き継いで開設。現在は20～50代の障害者18人が1日5時間働いて、4棟のハウスで菌床シイタケを栽培し、月間1・8㌧を胆振管内のコープさっぽろ、市内の道の駅観光物産館、Aコープ、イオンに出荷している。

藤沢所長(45)は「水分を少なめに調整して発生数を抑え、肉厚なシイタケを生産しているのがポイント」と語る。受賞を機に今後は外部調達している菌床も手がける考え。「一貫栽培することで障害者が働く場を広げたい」（同所長）という。（和田年正）

「湘南しいたけ」の製品を手に、北海道知事賞の受賞を喜ぶ事業所の利用者ら

（C）北海道新聞

無断転載、複製及び頒布を禁止します。